

シリーズ菊池遺産

(64)

問い合わせ先 企画振興課
☎0968(25)7250

人権・同和教育シリーズ

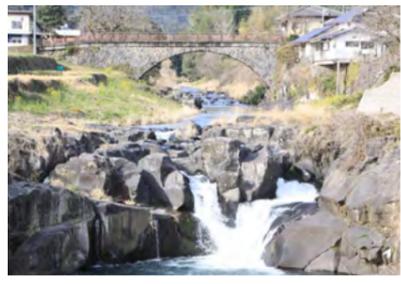
(123)



問い合わせ先 人権啓発課
☎0968(25)7209

迫間眼鏡橋・迫間滝・休み石

迫間眼鏡橋は、東西迫間に架かる橋で、荷物の運搬、水路、人々の架け橋として重要な生活を補い、江戸時代に造られて現在も活用されています。大型単一アーチ型がね橋で、西迫間の庄屋らの功勞で石工伊助が大工と力を合わせて造り上げました。



認定番号第特別 H26-1 号
推薦者 東迫間区

休み石は、昔からよこい石といわれ、菊池一族が鳳来山の聖護寺に勉強に登るときに、この石に腰を下ろして風景（滝）を絶賛したと伝えられています。

穴川神楽

穴川神楽は、昭和47年に市無形文化財に指定されています。神社の祭日である1月5日に奉納され、構成は神の舞、御幣、二剣、四剣、弓、弓剣、練り、歌神楽、奉剣、鬼神の舞の10座からなります。



認定番号第特別 H26-2 号
推薦者 穴川区

鬼神の舞では、2層程の竹の先につけた御幣を手に入れようと観客が奪い合い、手に入れた御幣は、無病息災のお守りとして大切に扱われています。

「私たちが目指す社会の未来像とは？」

昭和60年8月12日、御巢鷹山に日航ジャンボ機が墜落する事故が起き、520人もの尊い命が奪われてから30年の歳月が流れました。520人の犠牲者一人一人に、ご家族を含め多くの縁ある人々の存在があります。

来春に結婚を控えていた愛子さんは、幸せの絶頂の中でこの世を去ってしまわれます。愛子さんは、婚約者に自分が部落出身であることを告げ、よき理解者である彼と幸せな未来を夢見ていたのです。彼の両親もまた二人の結婚を心から祝福されており、父親は「私は教師です。人様に平等を説きながら、自分を偽るようなことはできません」と、二人を励まし続けておられました。

愛子さんたちは、差別の壁を乗り越えた本物の愛で結ばれており、婚約者とは、事故後も家族同様の付き合いをされていたそうです。婚約者の男性にお見合いの話を持ち上がり、彼は涙ながらに愛子さんの両親に相談します。愛子さんの両親は、「愛子はもういない。一日も早く幸せな家庭を築いてほしいと愛子も望んでいるのではないか」と諭されたのでした。

「はーいーちらら菊池市消費生活センターですー！」

数年後、婚約者は結婚し、結婚相手の女性と子どもを連れて愛子さん宅を訪問します。本当の孫を抱くかのように微笑んでいる妻の姿と女性の優しさに触れ、お父さんは「この女性には、ここが昔の婚約者の家であるとか、同和地区であるとか、そんな思いはみじんも無い。私たちが信じ切っている」と述べられています。

愛子さんの父親の手記「娘ののこしてくれたもの」を読んで、深い感銘を受けたある中学3年生の女の子は、母親とともに御巢鷹山を訪ね、愛子さんの墓標に手を合わせる事ができました。時の流れは、事故の惨状を覆い隠すように山は緑に包まれ、川のせせらぎが響いていましたが、ご遺族の心の傷はいつまでも癒えないことを実感する旅でもありました。

数年前、愛子さん遺族の元に、一通の手紙が届きます。「航空機事故は、被差別部落の愛子が乗っていたために起こった。愛子是人間じゃない。愛子は、519人を殺したテロリストだ...」この手紙を読んだ女子中学生親子は、差別への怒りと悲しみで体の震えが止まらなくなりました。

地域人権教育指導員 米村隆一郎

しかし、愛子さんのお父さんは、「この人自身に罪はない。差別の歴史をきちんと教えられなかったのだ。偏見だけを植え付けられた犠牲者なのだ」と一切問題にされなかつたそうです。還らぬ愛子さんを思い、深く傷ついた悲しみを乗り越え、元婚約者の結婚を自分のことのように喜ばれるお父さんのこの言葉を私たちがどのように受け止めたらよいのでしょうか。

愛の生き方を遺してくれた愛子さんに会いたいと御巢鷹山への旅を決意する女子中学生の行動力と背中を押す母親の姿、婚約者の差別と真摯に向き合う誠実な生き方、家族の理解と応援、結婚相手の女性の優しく純粋な姿に、私たちが目指す社会の未来像があるように思います。そして、その対極にある偏見だけを植え付けられ、正しく学ぶ機会を奪われた差別者（犠牲者）を二度と生み出さないことが、今を生きる私たちに課せられた責務のように思います。

女子中学生は、愛子さんの墓標の横のお地藏さんに刻まれた「一日一生涯」という思いを受け継ぎ、一日一日を大切に歩んでいきたいと人権作文につづっています。

菊池夢美術館情報

問い合わせ先 菊池夢美術館 ☎0968(23)1155

【夫婦の手紙・絵手紙展】

期間 ~平成28年1月17日(日)
全国から募集した手紙の部 87点と絵手紙の部 295点の作品を全て展示します。皆さんのお越しをお待ちしています。



第11回絵手紙最優秀賞
尚井喜八さん



開館時間 午前9時~午後5時30分
※12月29日(火)~平成28年1月3日(日) (12月31日(休)は休館)の年末年始期間中は午前11時~午後4時

わいふ一番館だより

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

【ギャラリー】

【中川好秋・金光麻佐也・山村龍彦 三人展】
期間 ~12月13日(日)
数年かけて撮影した四季折々、三人三様の初めての作品展です。皆さんぜひお越しください。

【廣田・前田 二人展】

期間 12月15日(火)~平成28年1月11日(月)
菊池の四季折々の写真を展示します。ぜひご覧ください。

【まちかど資料館企画展】

【菊池十八外城展】

期間 12月4日(金)~平成28年3月27日(日)
菊池十八外城は四方に城塞を配置して連携をなし、守備を固めました。この企画では時代の動きと外城の役割をご紹介します。

開館時間 午前9時~午後5時
※休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)

ふるさと緑の便り 菊池グリーンツーリズム

問い合わせ先
さくちふるさと水源交流館
☎0968(27)01002

元気食材「エゴマ」

エゴマとはゴマによく似た種子を持つシソ科の植物。日本ではインド原産のゴマよりも古くから利用され、実は日本人には馴染み深い食材なのです。特徴は、その栄養価の高さ。とりわけ人体に不可欠な必須脂肪酸であるα-リノレン酸は、他の食用油に比べ類を見ないほど豊富に含まれています。「食べると10年長生きできる」といういわれからジュウネンと呼ばれる地方名もあるほどです。

健康に良い成分を持つ「元気食材」エゴマで、高齢化の進む地域を元気にしたいと取り組んでいるのが水源地区。4年前に試験的に植えはじめ、「エゴマ部会」を立ち上げ、昨年から本格的に栽培「えごま油」などの商品化を実現しています。

エゴマづくりの取り組みによって、農業振興だけでなく健康にもつながり、「地域が元氣」になることを願っています。



水源地区で商品化した「えごま油」

還付金詐欺にご注意ください！

本市で還付金詐欺が発生し、被害が出ています。手口は市役所をかたり高額医療費の還付金があると電話をかけ、手続きを急がせ、コンビニATMや人通りが少ないATMまで誘導して振り込ませるものです。本市では確認のため、個人宅に問い合わせの電話をかけることがありますが、個人情報を探ったり、家族構成などを聞いたりすることはありません。対策として留守番電話に設定し、登録していない番号や非通知からの着信には出ないこと。不審に感じたときは担当課、職員氏名を聞いて、自分から電話をかけて確認するなどの対応をお願いいたします。

- ① 行政機関を名乗って、「マイナンバー制度が始まりマイナンバーに係った新たな詐欺も発生しています。詐欺事例を紹介いたします。」
- ② 「マイナンバー制度の導入に伴

なりすまし郵便物に注意！

マイナンバーは、「通知カード」「転送不要」と赤字で書かれた封筒に入って、簡易書留で各世帯に郵送されます。普通郵便でポストに入っていることはありません。配達員が代金を請求したり、口座番号などの個人情報を聞いたりすることはありません。マイナンバーの通知や利用手続きなどで、国や自治体が家族構成、資産や年金・保険の状況などを聞くことはありません。不審な電話はすぐに切り、来訪の申し出があっても断ってください。金銭を要求されても決して払わないようにしましょう。

消費生活センターでは専門の相談員が常駐しています。相談は無料です。